

みしま



2012

4

広報みしま No.229

“春”旅立ちの時

写真／三島中卒業式は3月13日に行われ、9人が巣立ちました。

夢を抱き、新たな進路に向かって歩き出した卒業生の未来にエールを送ります。

地区の自慢を活かした 集落活性化

3地区で4年間の補助事業を完了

町内の各地区では少子高齢化が進み、集落の維持・活性化が大きな課題となつています。その中で、地区の魅力を活かして集落を元気にしていくと、補助事業を活用した取り組みが行われてきました。

早戸、西方、宮下の3地区では、福島県地域づくり総合支援事業（サポート事業）の補助採択を受け、平成20年度から平成23年度までの4年間、独自の事業を実施してきました。この3地区は、高い補助率が得られる過疎・中山間地域集落等活性化枠に採択され、初年度に集落再生計画を策定し、その計画に基づいて、その後3年間の事業を展開してきました。平成23年度

には大石田地区も同補助事業に採択され、集落再生計画を策定したところです。

町ではこれらの県補助事業の実施をサポートするともに、町独自の支援を図るために、三島町地区支援事業を平成22年度から開始しました。地区の課題解決や住民福祉の向上、交流活動の促進など、地区づくりを目的とする事業を補助しています。

補助事業は多くの場合、自己負担分の資金が必要となります。県のサポート事業においても、事業費の2割ほどの自己資金が必要となります。町ではこれを支援するため、三島町地区支援事業補助金を県補助事業の自己資金に充当することも原則可能としてい

ます。

早戸、西方、宮下の3地区では、事業の中で住民同士さまざまな話し合いが行われ、それぞれの地区の魅力を引き出してきました。今後に向けた課題もありますが、自分たちの地区の自慢を誇りに思う皆さんの手で、さらに元気な集落となることを期待し、町でも支援していきます。

わたしたちが普段見慣れた物や風景も、見方を変えれば、少し工夫すれば、ここにしかない魅力あるものかもしれません。その地域にしかない魅力を発見し、保存し、活用することが、集落再生への手がかりとなるのではないでしょう

早戸

早戸温泉周辺と「神々の道」の遊歩道整備による交流活性化

早戸地区には、多くの入湯客が訪れる早戸温泉があります。この交流人口を地区の活性化につなげたいという思いから、早戸温泉から居平への連絡道、石仏・祠^{ほこら}などが点在する「神々の道」の遊歩道を整備しました。また只見川対岸の金山町三更地区と連携し、「霧幻峡の渡し」として渡し船を復活させるなど、取り組みを広げています。昨年7月には、完成した遊歩道でウォーキング大会が開催され、多くの参加者でにぎわいました。残念ながら、豪雨災害により只見川沿岸部の遊歩道が失われてしまいましたが、早期の復旧を目指しながら、交流活性化を図ります。



「神々の道」を巡る遊歩道が完成し、約30カ所の石仏や祠などを見ることができます。また早戸温泉つるの湯から居平への連絡道もでき、地区全体を回遊することができます。

西方

大林ふるさとの山や鬼子母神の整備と、地区記録誌の作成

西方地区には、約4鈐にカタクリが群生する大林ふるさとの山があり、春には花見を楽しむたくさんの来場者が訪れます。また、子どもの成長を願う鬼子母神があり、五月の連休は多くの参拝者で賑わいます。地区ではカタクリや鬼子母神を活かして集落の活性化を図るため、遊歩道や参道を整備しました。また地区の伝統を後世に伝えていくため、地区記録誌の作成や郷土料理の再現事業を行いました。今後も3年間のサポート事業で築いた基盤を活用して、交流人口を増やし、地区のコミュニティの活性化を目指しています。



カタクリ群生地の遊歩道を整備したほか、公園の管理などに役立てるため協力金箱を設けた。昨年は集まった協力金で遊歩道の案内看板を設置した。

宮下

地区の美化運動や宮下型住宅の保存による町並み景観づくり

宮下地区では昭和17年の宮下大火からの復興により、現在の町並みが形成されました。切妻・真壁の在来工法による宮下型住宅が数多く残り、独自の町並みを残しています。その町並みを活かした景観づくりのため、地区の小道の整備、耕作放棄地でのそば栽培、地区の美化運動として地区内の清掃活動や花いっぱい運動などを実施してきました。平成23年度はフォトコンテストを実施し、宮下の美しい風景をPRする試みが行われました。今後は旧館墓地の公園整備と火の見やぐらの復元などが予定されています。



景観の美化のため、休耕地を利用してそばを栽培した。その他、「町全体を庭のように」を目標に、民家の庭を美化し、公開していくことなどを目指している。

町内の福島県地域づくり総合支援事業 （サポート事業）採択事業			
地区	事業	実施年度	
早戸	秘湯・早戸温泉を守り続けるコミュニティ環境整備事業	H20～H23	
西方	西方地区自然と歴史を活かしたコミュニティゾーン連携事業	H20～H23	
宮下	宮下地区まちづくり事業	H20～H23	
大石田	祈りの道を巡るコミュニティ環境整備事業	H23	
間方	間方地区活性化事業	H23	
直売所はなつこの会	直売所「はなつこ」事業	H22～H23	

福島県地域づくり総合支援事業（サポート事業）とは

魅力ある地域づくりを推進していくために、民間団体や市町村等が行う地域振興の取り組みに対し、県が補助金を交付するものです。地域の課題を踏まえ、地域の特性を活かして行う広域的な視点に配慮された事業や、先駆的、モデル的な事業が対象となります。

①一般枠（民間団体等）

補助率 4分の3以内（上限500万円）

②過疎・中山間地域集落等活性化枠（行政区等）

補助率 5分の4以内（上限500万円）

三島町地区支援事業とは

魅力ある地区づくりを推進する事業に対し、町が補助金を交付するものです。県のサポート事業等の自己資金分に充当することも原則認めています。

補助率 10分の10以内（上限50万円）



空き家が目立つようになった町内の集落（写真は西方地区）

町内の空き家軒数

宮	下	23 軒	間	方	4 軒
荒	屋	敷	西	方	18 軒
桑		原	大	石	田
大		登	名		入
川		井	小		山
松		原	高	清	水
滝		谷	滝		原
大		谷	早		戸
浅		岐	計		113 軒

町内では世帯後継者の不在などによる空き家が増え、その数は全体の1割以上になっているとみられます。その中には、所有者が定期的に帰省し、維持管理されている空き家もある一方で、放棄され荒廃している空き家もあります。このような空き家の増加は、少子高齢化・人口減少と同時に全国で発生している問題であり、雇用環境や生活圏の変化など、その原因は社会全体に広がっているため非常に解決困難な課題です。これまで町では、空き家に入居を希望する問い合わせへの対応などを行ってきました。しかし紹介できる物件数が少ない上に条件が良くないことや、改修の負担を伴う場合が多いことなどから、町が仲介して入居につながった例は近年ありません。

しかし町内では、三島町への移住希望者が、町民の方々の協力を得て空き家に入居した例も複数あります。入居者の多くは集落での暮らしや仕事などにおいて、地域とかかわりを持って生活されています。このように空き家への居住は、空き家の荒廃を防ぐだけでなく、人の交流を起こし、地域の活性化にもつながると考えられます。また荒廃してしまつた空き家の解消は、美しい集落景観の保全につながります。

町では今後、空き家物件の調査に力を入れ、入居希望者等への斡旋に努めるとともに、空き家の改修費用の助成や、賃貸する場合の家賃助成を制度化する方針です。

空き家に関する情報を町へお知らせください

空き家物件の調査では、まず所有者の意向を聞かなければなりません。町から離れている所有者と容易に連絡が取れないことも多いのが現状です。町民の皆さんの中で、空き家についての何らかの情報がありませんでしたら役場地域政策課までお知らせください。

☎ 役場 地域政策課
(48) 5533

空き家活用・解消を推進します

平成24年度重点事業

早戸・宮下・西方の地区づくりの成果を発表

会津大学 森文雄教授が基調講演 三島町地域づくりフォーラム



交流センター山びこで行われた地域づくりフォーラム

集落づくりの秘訣とは
町内外から60人が参加

地域づくりフォーラムは3月1日、交流センター山びこで行われ、町内外から約60人が来場しました。フォーラムでは文化財等の地域資源を活用した地域づくりをテーマに、会津大学短期大学部の森文雄教授が講演し「集落の活路は都市との連携による、まちむら交流にあります。外の力呼び込み、地区の農業を維持することが、地域の伝統文化を継承することにつながります。都会の真似をするのではなく、地域独自の資源を活用し、その集落ならではの地域づくりを目指してください」と話しました。

その後、佐久間宗一さんが宮下地区の町並み景観作りの事例を発表し、続いて小松順太郎さんが西方地区の大林ふるさとの山等整備と地区記録誌作成について述べました。最後に目黒卓男さんが、早戸地区の温泉周辺と神々の道の遊歩道整備に取り組んできた内容を話しました。

地区づくりを支援します

平成24年度 三島町地区支援事業補助金

町では魅力ある地区づくりを推進する事業に対し補助金を交付します。下記のとおり申請を受け付け、審査の上採否を決定いたします。

●1次募集期限 **5月9日(水)まで**

※申請状況によって2次募集を行います。

対象事業	町内の地区（行政区）または地域づくり団体等が行う事業で、次の要件満たすものとする。 ①地区の魅力拡大や課題解決、住民福祉の向上、交流活動の促進など、地区づくりを目的とする事業。 ②一時的なものでなく、継続的な取り組みにつながる内容であること。 ③事業主体が地区以外の団体の場合は、事業の実施場所となる地区との連絡調整が図られていること。
補助の額	補助対象経費の10分の10以内（千円未満切り捨て） ※ただし補助対象経費が委託料・工事請負費・備品購入費に限られる事業の場合、補助の額は5分の4以内とする。（国・県等の補助採択を受け、その自己資金分に当補助金を充当する場合はこの限りではない） 補助の額の上限は50万円とする。 （なお、交付要綱に基づき対象外となる経費があります）
申請先	役場 地域政策課 美しい村づくり班 （※申請書様式は同班で配布いたします）

☎ 役場 地域政策課 ☎ (48) 5533



大石田地区で行われた地区座談会

地区座談会

町民252人が出席

地区座談会は1月30日から2月17日にかけて、町内15会場で行われ、町民252人が出席し、全世帯に設置した情報通信端末や放射能問題などについて説明と質疑応答が行われました。その内容を報告します。

①情報通信端末

（テレビ電話）について

〔質問〕お知らせ情報が入ってから20分間、画面が明るいのは長すぎる。設定を変えられるのか。

〔回答〕町からのお知らせ情報を入れるために20分という設定になっています。時間設定は変えられないようにしてあります。

〔質問〕緊急時の連絡はどのように来るのか。

〔回答〕音声で流れ、その後画面に残ります。画面を押すと再生できます。

〔質問〕その家の住民に異常があった場合、ボタン一つで通報できるシステムがあるのか。

〔回答〕災害時に避難指示等が出た時など、避難の際に確認ボタンを押すシステムがあるので、これに応用して対応が可能と考えています。

〔意見〕防災面で、停電時に使えないのでは意味がない。

〔回答〕屋外拡声器のほか、広報車による情報の伝達を図ります。なお、今後充実に向けて検討します。

〔意見〕屋外拡声器は遠くて聞

こえない。

〔回答〕緊急の場合は広報車などで対応いたします。

〔要望〕高齢化が進み、一人暮らし二人暮らし世帯が非常に多い。安否確認や健康管理に活用できないか。

〔回答〕現在は具体的になっていませんが、汎用性の高い機器なので今後検討します。

〔質問〕通話中にお知らせが流れたときは、どちらが優先か。

〔回答〕通話が優先で、画面にお知らせが出るので確認してください。テレビ電話から町外や携帯へはつながりません。

〔質問〕子機にも文字情報は入ってくるか。

〔回答〕親機のみで子機には入りません。

〔質問〕端末は1世帯1台か。

〔回答〕1台としています。

〔質問〕ワイヤレスの子機が入っているところもあるが。

〔回答〕NTTの商品で個人で購入入しています。（1台9600円）

〔質問〕役場が停電になった場合はどうするのか。また戸別端末のパスワードはどうなっているのか。

能か。

〔回答〕①町の測定では松原での高い空間線量の数値は確認していません。落ち葉については7000ベクレルという値が出ましたが、一方所に集めたものを測定したためであり、通常の状態で特に高いわけではありません。②落ち葉の使用について不安な場合は、道の駅で行っている簡易測定で判断していただきたいと思っています。

〔質問〕除染に関する補助金は、何に使ったのか。

〔回答〕高圧洗浄機、スコップなどを購入しました。

〔意見〕重点調査地域に指定されないほうが良かったのでは。指定されたことで三島は高いという風評を招いている。

〔回答〕安全のために調査するという方針で指定を受けました。二通りの考え方がありますが、町民にとってより安全、安心のためと考えています。

〔質問〕①手をあげれば重点調査地域に指定になるというのは間違いなのか。②会津ではどこが指定されたのか。③モニタリングポストは町内で何カ所に設置されたのか。

〔回答〕役場は最低限の発電設備があります。パスワードについては設定する時に使うもので、操作しないでください。

〔質問〕電気料がかかるから切っている人もいるが。

〔回答〕大きな電気料にはなりません。切っている方もいるようですが、防災端末であるため電源は切らないでください。

〔要望〕使い方は説明を聞いて分かったが、座談会に来られない人（特に高齢者）への周知をどうするのか。老人クラブ等で集まる時に出前講座をしてくれると助かる。

〔回答〕個別訪問、高齢者向けの説明会を開催して対応していきます。また大勢集まる機会があるときは説明いたしますので、お知らせください。

〔意見〕着信音量が小さくて聞き取りにくい。

〔回答〕緑色の設定ボタンから音量・音の高低の設定が出来ます。連絡いただければ訪問して調整します。

〔質問〕公共施設へはどのくらい設置されているのか。

〔回答〕工芸館や交流センター山びこをはじめ、ほとんどの施設で設置してあります。設

〔回答〕①当初は調査をして指定するという国の方針でしたが、その後、申請すれば指定されることになりました。②

会津では会津坂下・会津美里、湯川、昭和、柳津、三島です。③モニタリングポストは7カ所に設置しており、10年以上は使用されると思われます。

〔質問〕風評のリスクを考えても手をあげたということか。

〔回答〕風評のリスクも検討しましたが、安全・健康を優先して決めました。

〔質問〕道の駅尾瀬街道みしま宿での放射能調査はいつまでやるのか。

〔回答〕今後も継続する予定です。県の補助と国から貸与された2台の測定機で検査しています。皆さんにもご利用をお願いします。

〔質問〕検査器を借りて自分の土地を計測したところ、0.23マイクロベルト以上の放射線が観測されたが、個人の土地は個人の責任で除染しなければならないのか。

〔回答〕基本的に個人の土地は個人で対応してもらうようにお願いしています。

〔質問〕空間に放射線があると

がるように考えてほしい。

〔回答〕今回の端末は町内だけの無料電話です。緊急電話は固定電話を使用してください。

②放射能問題について

〔質問〕「水道水からは不検出」とのことだが、通常の数値と比較してどうか。空気に関しては「基準値に満たないから数値として挙げられない」という場合もあるようだ。

〔回答〕町水道、清水や井戸水は、「不検出」ですが、量が少ないものについて少しあるのか、それとも全く無いか判断するのは難しいです。

〔質問〕除染作業の後には「仮置き場」と「最終処分場」が必要となるが、仮置き場はどのようにして放射能漏れがないようにするのか、また最終処分場はどうするのか。

〔回答〕仮置き場の放射能漏れ対策については、二重にした燃えないごみ袋の中に汚染土壌を入れ、更に土のう袋に入れ、それを1mの深さに埋め土を50cm被せます。30cm土を被せれば98%遮へいされます

置されていないところの番号に電話をかけると、画面にその旨の表示がされます。

〔要望〕防災無線の屋外拡声器は冬期間は外に出ても聞こえない。携帯電話の活用により情報が入る仕組みは導入できないのか。

〔回答〕携帯電話は有効な手段だと考えています。今後活用する方法を検討していきます。

〔質問〕戸別端末の設置費用はいくらか。

〔回答〕戸別端末は1台3万9800円です。端末までの屋内工事も含めると概ね10万円となります。

〔質問〕お知らせの試験が終わればすぐに使用可能となるか。

〔回答〕使用可能となります。本格運用は4月1日からです。

〔質問〕1カ月5000円の料金はテレビ電話に対して取られているのか。

〔回答〕テレビ電話は無料です。1カ月5000円についてはテレビ放送の料金です。

〔質問〕古い防災無線の配線等撤去は個人でやって良いのか。

〔回答〕4月からテレビ電話への切替後、町で回収します。

〔要望〕救急など緊急電話も繋

いうことは土壌に放射能があるということだと思いが町ではどう考えているのか。

〔回答〕町では土壌の調査を全地区で行いました。一番多かった地区では400ベクレル／kg、その他の地区では概ね100～200ベクレル／kgでした。収穫した作物から基準値を超える放射能が検出される可能性は少ないと考えています。不安を解消する一つの手段として、道の駅に設置した検査室で検査をお勧めしています。

〔質問〕ベクレルとシーベルトの違いは何か。

〔回答〕ベクレルとは放射線を出す能力で、シーベルトとは人体が受ける放射線の量の単位です。

〔質問〕来年度、作付可否の判断は個人が判断するのか。全体的な基準はないのか。

〔回答〕基本的には個人の判断になりますが、農産物の出荷については基準値が存在し、基準値を超えれば出荷停止となります。基準値以下のものは安全なものとして市場に出せます。三島の場合は線量が低いため、人体、作物に与え

る影響は少ないと考えられています。安心のために、測定機を使用してください。

〔質問〕（議員）町全体で一カ所に除染されたものを集めることはできないか。

〔回答〕同じ地区内でも場所の選定が難しく、他の地区の分となるとさらに問題が出来ます。地区から出たものは地区内に置く考えです。3年後には中間貯蔵施設に移します。

〔質問〕テレビで、雪のあるところと無いところでは放射線量が違うと出ていたがどうか。雪があると少なくなるというが。

〔回答〕放射性物質は地表面にあり、積雪で覆われることによる遮へい効果です。例として、桑原スキー場では降雪前は0.16^μシーベルトだったものが、降雪後には0.07^μシーベルトとなりました。しかし放射性物質がなくなったわけではないので雪解け後の状況を注視する必要があります。またセシウムの半減期が長いので急激には下がりますが、時間経過とともに徐々に少なくなることもあります。雪解け後に、調査した上でそ

の後の対応をしっかりと考えていきます。

〔質問〕調査地域、また調査する土地（地目等）はどこを想定しているのか。

〔回答〕現在は特措法自体でも未定です。本来は国が調査・協議を行った上で指定するか判断されるものでしたが、国の方針が変わり、希望する自治体はすべて指定されました。その後具体的にどうするかは決まっています。町としては雪解け後すぐに調査したいと考えています。

〔意見〕国で行うにしても町で行うにしても、雪解け後の線量測定は、前回測定しなかった山林や田畑も行うべきではないか。

〔回答〕その方向で検討します。〔意見〕先日、柿の放射能測定をしてもらったが検出されず、また証明書も出してもらったので安心していい。

〔回答〕きちんと測定をし、正式な証明書が無いと外部から信用されないという事案もあります。測定後は町長名による報告書を発行しています。

〔質問〕一昨年の灰は農地に使用可能か。

返済したのか。

〔回答〕負債に充当したので返済出来ませんでした。損害賠償があつたとしても法律上返済は出来ません。

〔質問〕ふるさと振興公社は解散するが、財産としては残っているのか。

〔回答〕ふるさと荘は町有施設であり、町の財産です。

〔質問〕町と経営者間でふるさと荘使用料の契約はどのようなになっているのか。

〔回答〕月に3万7000円が経営者から町に対して支払われます。

〔質問〕抛し金として三島町の2900万円が使われた後に解散となり、それに対して誰も責任をとらないのか。

〔回答〕町にも公社にも責任はあると思います。2900万円の借金は累積したものです。これまでの赤字分と相殺しましたが、長年改善は見られませんでした。

〔質問〕前の理事長などに責任はないのか。

〔回答〕町も公社も責任は感じています。前理事長は辞表を提出し、理事会で受理されています。

〔回答〕県の指針に基づき、取扱いについては広報します。

〔質問〕農地等への低減化への対応はあるか。

〔回答〕ケイ酸カリウムが放射能の吸収を抑える効果があるため無料配布します。

〔質問〕大谷グラウンドの数値が非常に高い。町の水道の水源がある場所でもある。今後除染は行ふのか。

〔回答〕グラウンドの中でも高い所と低い所がありました。町水道は非常に深い場所から掘り上げているので問題はありません。町水道からは放射性物質が出ていません。春の雪解けを待ち、メッシュをかけて調査し、場所の絞り込みを行います。地区住民の皆さんにもご協力いただきたいと思っています。

〔要望〕公共的な空間だけではなく、生活空間に対しても除染を考える必要があるのではないか。0.23^μシーベルト以下はやらない、民間の土地はやらないというような方針は立てないでもいいか。

〔回答〕生活空間を中心に始めています。今後も効果的な除染方法の情報などをもとに対策を考えていきます。

〔質問〕放射性物質の除染をした後も水の溜まる場所は、大雪や大雨の後に、放射線が高くなるのではないか。

〔回答〕木や草に付着しているものが低い箇所に集まるので可能性はあります。

〔質問〕みしま宿の測定機と区長宅の測定機の違いはなにか。山菜等を販売するので、証明書の発行ができないか。

〔回答〕みしま宿に整備したものは食品等に含まれる放射性物質の測定機で、区長宅にあるものは空間線量の測定機です。みしま宿での検査結果については町の公印を押した報告書を発行しています。

〔質問〕原発事故前の放射線量を計測したことはあるのか。

〔回答〕町で測定したことはありませんが、通常の自然界にある放射線量は0.05^μシーベルト程度といわれています。

〔質問〕個人で使っている水道も検査できるのか。

〔回答〕道の駅2階で検査できます。水の場合1^ℓを準備していただき検査を依頼してください。

〔質問〕除染で集め埋めた物の数値は、減らないままなのか。

〔質問〕議会では報告したのか。

〔回答〕（議員）議会への報告はありません。議会の委員会でも桐タンス、ふるさと荘については審議中です。

〔質問〕町ではふるさと振興公社の立ち上げには2900万円しか出していないのか。他にはないのか。

〔回答〕町では2900万円しか抛ししていません。

〔意見〕ふるさと荘に限らず旅館は他にもある。イベント時など観光客をもつと呼び込むような取り組みを観光協会を中心にやるべきではないか。

〔回答〕観光協会を中心に取り組んでいきます。

〔意見〕ふるさと荘が悪かったのではなく、公社としての赤字をそのままにしていたのが問題なのではないか。美坂高原から手を引いたときに清算しておくべきだった。

〔回答〕当時はふるさと荘単体では黒字経営でしたが、美坂高原などの累積赤字をカバーしていました。今回は公社を存続させるのか、ふるさと荘自体を継続するのかを判断しました。

〔意見〕結果的にやり方が悪かつ



二瓶隆司町長は全会場に出席した

③ 社団法人ふるさと振興公社解散について

〔質問〕町が出したお金は戻っていないものがあるのか。

〔回答〕貸付金は戻りましたが、抛し金として出資したものは、他の社員（出資者）と同様に戻ってきません。

〔質問〕一口5万円の抛し金は

た。解散は震災だけが引き金ではない。21、22年度に行った全員解雇は間違いだ。町・職員も反省し、あのような失敗は二度としてはならない。

〔質問〕ふるさと荘の今後の見通しは。

〔回答〕新たな指定管理は、最長は3年ですが年度途中からのため2年半の予定です。建物自体は町の所有なので修繕等の管理、また指定管理者の指導管理もしっかり行います。

〔質問〕3年たつたあと、指定管理を継続するのか、あるいは町が関与した別の経営形態にするのか。

〔回答〕直営ではコストが掛かり十分なサービスも提供出来

ないので、民間ベースで収益性やサービス性が高いと判断出来るものであれば指定管理を続けたいと考えています。

〔質問〕温泉の権利は誰のものか。

〔回答〕町のもので。〔質問〕75歳以上無料等はどうか。

〔質問〕今回新たな企業を管理者としたとき400万円の準備金が支払われたが、再び公募するときも用意するのか。

④その他

〔質問〕二瓶町政として、三島町の町づくりをどのように進める予定か。

〔回答〕ふるさと荘の問題、桐加工場の問題を真っ先に解決した後、町民の声を聞き、第4次振興計画に基づき堅実にやっていきます。

〔意見〕町に雇用の方がほとんどない。働く場を作ってほしい。また桐の湯の経営再建や、お見合いの場をつくるなどの若者定住策を行ってほしい。

〔回答〕桐の湯については、内装や外装の改修工事をしていきます。また若者定住には基金

〔質問〕冒頭の町長さんの挨拶で会津桐タンス(株)のことがあったが、その状況は。また、暗い話ばかりでは先が見えないので、今後の町の方針として、新しい地場産業など明るい何かを見通せるような事柄はあるのか。

〔回答〕会津桐タンス(株)については町5000万円、町民

〔質問〕宅内の配線の劣化により減衰し、BSのみ、見れない症状であることが考えられます。宅内配線は個人負担(対応)となります。

〔質問〕二瓶町長は桐の里運動

を引き継ぐのか。

〔回答〕引き継ぎます。

〔質問〕西会津はテレビ放送で生放送しているが。

〔質問〕会津桐タンス(株)の赤字状況を説明して欲しい。

〔回答〕会津桐タンス(株)は合計で7300万円の資産があります。現在の価値として

〔質問〕月500円は変わります。集金時期は半年に1回です。方法として、電話料金と一緒に支払うか町の納付書で払う方法の2通りです。

〔質問〕ケープルテレビの月500円は変わっていないのか。集金時期は。

〔質問〕町は情報関係施設の維持にどのくらい払うのか。

〔質問〕町で実施している事業で普及率55%は非常に低い。もっと上げるための努力はすべきである。

〔質問〕テレビ放送は申し込んだらすぐできるのか。

〔質問〕今後の新規加入の工事は、ある程度の申込数が集まれば工事を行います。

〔質問〕町独自のテレビ番組は、どのくらいの頻度で新作を放送しているのか。

〔質問〕番組は月2回の更新を行っています。

〔質問〕テレビ放送でBSが映らなかった時があったが、どうしてか。

〔質問〕テレビ放送でBSが映らなかった時があったが、どうしてか。

〔質問〕土砂に埋まったため復旧工事を行い、あわせて厨房の整備、合併処理浄化槽の設置を行いました。早い時期に再開したいのですが、県の護岸工事の進捗を見ながら検討します。

〔質問〕桐の湯の経営は町でサポートするのか。

〔質問〕宮下の消雪はいつ復旧するのか。

〔意見〕町で実施している事業で普及率55%は非常に低い。もっと上げるための努力はすべきである。

〔質問〕高年齢者の方からラジオ体操の放送はともいいと言ったのはなぜか。

〔質問〕無線機の状態が悪く、よく聞こえなかったりしたため、防災無線での放送は取り止めました。今後はテレビ電話で選択できるような事も考えたいと思います。

〔質問〕高年齢者の方からラジオ体操の放送はともいいと言ったのはなぜか。

〔質問〕無線機の状態が悪く、よく聞こえなかったりしたため、防災無線での放送は取り止めました。今後はテレビ電話で選択できるような事も考えたいと思います。



西方地区で行われた地区座談会

「ふくしまからはじめよう」のスローガンのもと、必ず美しいふるさとを取り戻すことを誓った福島県。決して平坦な道ではありませんが、この困難に立ち向かい、復興へと進んでいます。三島町も、決してあきらめることなく、「住み続けたいふるさと」を目指していきます。

Pickup1
防災



光ケーブル網を利用した新しい防災告知端末の運用が、今年度から本格的に始まります。また、災害時や停電時などのために防災広報車を購入し、各地区との連絡体制を強化し、町の防災体制の充実を図ります。

問 総務課 ☎ (48) 5511

Pickup2
放射能



原発事故による放射能問題について、主に子どもが利用する施設と、不特定多数の町民が利用する施設で、除染が必要かどうか調査します。また道の駅尾瀬街道みしま宿において食品等の放射線測定を実施します。

問 町民課 ☎ (48) 5555
地域政策課 ☎ (48) 5533

Pickup3
雇用



福島県緊急雇用創出基金事業として雇用の創出に取り組みます。

①テレビ放送運営②歴史文化基本構想推進③地場材の住宅展示販売と木製家具開発④桐タンス製品販路拡大⑤会津地鶏振興⑥放射線測定⑦六次化推進⑧地場産品販売促進⑨観光誘客拡大

問 地域政策課 ☎ (48) 5533

Pickup4
観光



大林ふるさとの山管理棟や道の駅屋外床など、老朽化した施設の改修を行います。また、町観光協会によるツアー企画や、観光PRの強化を図り、誘客の拡大に努めます。

問 地域政策課 ☎ (48) 5533

Pickup5
福祉



一人・二人暮らしの高齢者の方や軽度の要介護者を対象に介護予防教室・デイサービスなどを実施します。また、桐寿苑、福寿草と連携した高齢者集合住宅について、町民参加による検討委員会により整備を検討します。

問 町民課 ☎ (48) 5565

Pickup6
住宅



若者定住を目指して町営住宅整備の基本計画を作成します。また、空き家の活用による定住・二地域居住を促進するため、紹介物件の増加と斡旋に努めます。さらに、空き家の改修や入居のための費用を助成します。

問 産業建設課 ☎ (48) 5566
地域政策課 ☎ (48) 5533

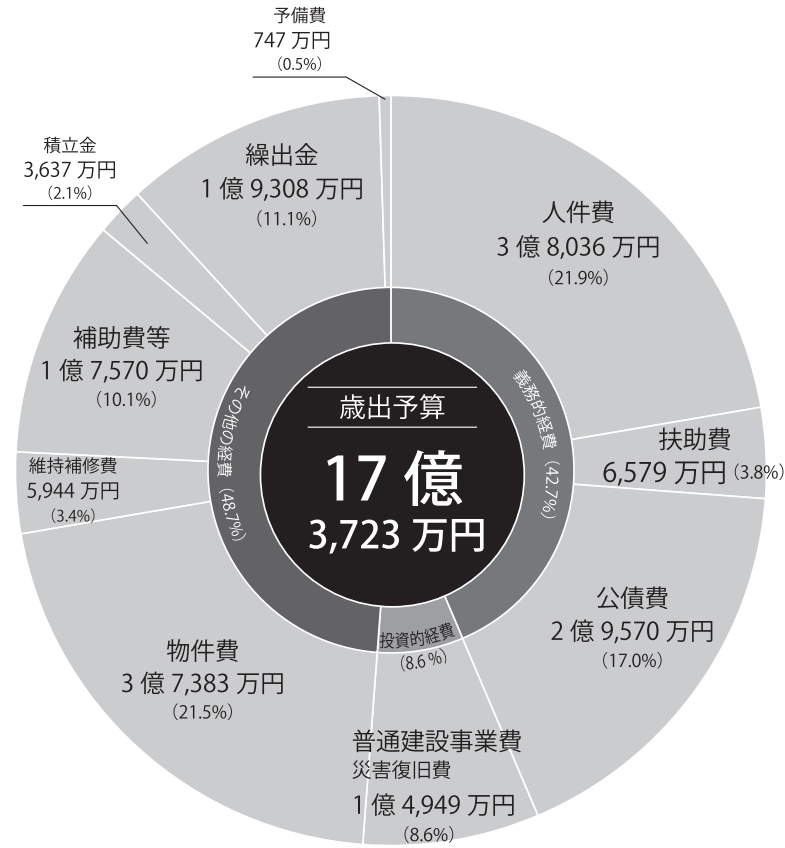
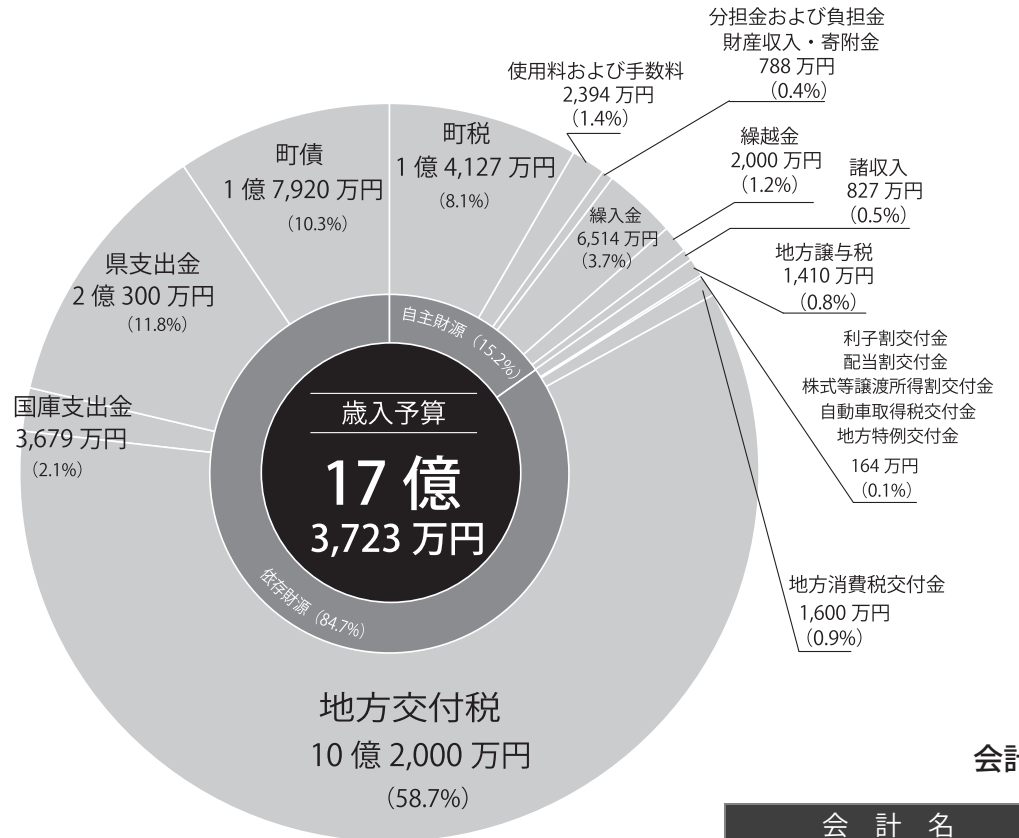
Pickup7
教育



今年度も継続して、町単独の教員の配置や、外国語指導助手の町単独招致などの他、今年度から英語検定など、資格取得のための支援制度を導入します。また、施設面では生涯学習センター、町民運動場の管理棟を改修します。

問 教育委員会 ☎ (48) 5599

主な投資的事業	
森林整備加速化・林業再生事業	2,333 万円
生涯学習センタートイレ手洗い場改修	2,392 万円
高齢者集合住宅建設（設計）	500 万円
林道倉掛沢線整備事業	100 万円
大林ふるさとの山管理棟改修	945 万円
道の駅屋外床改修	630 万円
川井地区用水路整備	1,147 万円
町営住宅建設（設計）	750 万円
消防団活動服・盛夏服	578 万円
消火栓設置工事	742 万円
町営運動場管理棟改修	451 万円
防災広報車購入	450 万円



会計別予算額

会 計 名		予 算 額	前年度比
一 般 会 計		17 億 3,723 万円	－5.6%
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	2 億 4,523 万円	－4.5%
	簡 易 水 道	9,122 万円	＋0.5%
	路 線 バ ス	2,212 万円	＋6.7%
	農 業 集 落 排 水	2,343 万円	－19.2%
	介 護 保 険	3 億 6,990 万円	＋17.2%
	戸別合併処理浄化槽	3,654 万円	＋12.0%
後 期 高 齢 者 医 療		2,822 万円	－2.2%
	合計	25 億 5,389 万円	－2.3%

用語の説明

●一般会計と特別会計
町の会計には、一般会計と特別会計があります。一般会計は基本的な経費の会計、特別会計は特定の事業を行うために区分した会計です。

●町税
町民の皆さんに納めていただく税金です。町民税、固定資産税、軽自動車税などがあります。

●地方交付税
町の財政力に応じて、国から交付されるお金です。財政力の不均衡をなくし、一定のサービスができるよう、国税（所得税、法人税、酒税、消費税、たばこ税）として国に納められた税金のうち、一定割合の額を地方自治体に配分するものです。

●町債
町の借金で、償還が2年以上にわたるものです。公共施設の建設など、一時的に多額の費用を必要とする場合の財源に充てられます。

●国庫支出金
町が行う特定の事業に対して、国から交付されるお金です。

●県支出金
町が行う特定の事業に対して、県から交付されるお金です。

●人件費
報酬や給与などです。

●物件費
賃金、旅費、消耗品費、燃料費などの消費的な経費です。

●維持補修費
道路や公共施設などを管理するための経費です。

●扶助費
高齢者、児童、心身障がい者などに支援する経費です。

●補助費等
町から他の団体などに対して、特定の目的で支払う補助金などです。

●普通建設事業費
道路や公共施設などの整備のための経費です。

●公債費
町の借金を償還する（返す）ための経費です。

●積立金
財政運営のために積み立てるお金です。

●繰入金
一般会計から特別会計に出しているお金です。



紙びなを流す矢澤雅生さんと高清水地区の皆さん

矢澤雅生くんが行事を継承 高清水の「ひな流し」(県指定重要無形民俗文化財)

高清水地区で継承されている伝統行事「ひな流し」は3月4日に行われました。同地区でただ一人の男の子、矢澤雅生くん(小2)が各家を回り、女性の人数分作られた紙びなを木箱に集め、三島大橋付近から只見川に流しました。地区の女性の皆さんも付き添い、流れていく紙びなに手を合わせました。行事には報道カメラマンも訪れ、希少な行事を撮影しました。



桐下駄作りを体験した三島小4年生と二瓶幸子さん

自分で桐下駄を作ったよ！ 三島小4年生が桐下駄作り体験

三島小の4年生が3月1日、町民センターで桐下駄作りを体験しました。二瓶幸子さん(川井)の指導により、児童たちは駄の鼻緒を付けました。この体験授業は町の森林環境学習事業によるもので、4年生は桐ドクターによる講演会や桐タンス製作見学など、一年を通して森林環境について学習しました。



和やかな雰囲気で行われた健康講演会

健診結果から自分の体を知る 西方地区で健康講演会開催

西方健康を守る会主催の健康講演会は2月24日、西方ふるさとセンターで開かれました。長野県の管理栄養士、林律子先生、中村千恵子先生が講師を務め、健診結果から見える体のことについて講話しました。林先生は「摂取された栄養で余分なものは血液に蓄積されますが自覚症状がありません。健診の結果をもとに日々の食事に注意しなければなりません」と話しました。



涅槃会の行事で行われた団子まき(撮影：中丸一雄さん)

釈迦の遺徳をしのぶ行事「涅槃会」 宮下地区の宮昌寺で行われる

年中行事「涅槃会」は3月15日、宮下地区の宮昌寺で行われました。これは釈迦入滅の日とされる旧暦2月15日ごろに寺院で行われる法会で、涅槃図を掲げて読経し、釈迦の遺徳をしのぶものです。宮下地区では、行事の中で和讃も行います。最後に色とりどりの団子がまかれ、参加者が拾いました。「涅槃会」は名入地区、川井地区でも受け継がれています。

失敗を恐れず、自分で夢と希望を作り出せる人になって欲しい 三島中卒業式、9人がそれぞれの道へ



星信男校長から一人一人卒業証書が手渡された
三島中卒業生

五十嵐輝(宮下)、板橋恵(早戸)、板橋雄(滝原)、板橋和奏(宮下)、佐久間祥吾(滝原)、諏江霞純(松原)、中丸あかね(宮下)、二瓶和香(名入)、渡辺翔太(大石田)

三島中卒業式は3月13日に行われ、男子4人、女子5人、計9人が卒業しました。星信男校長は「失敗を恐れず夢に向かい挑戦し続けてください。今復興の時、次世代の担い手である君たちに、心からの声援を送ります」と式辞を述べました。また北館長一教育長は「自分で希望、夢を作る力とそれを実現しようとする意志が大切です。努力はいつか必ず報われます。三島中で友情を深め活躍したことに自信と誇りを持ち、たくましく強く生きていってください」と告辞を述べました。続いて二瓶隆司町長、角田伊一町議会議長、板橋康宏PTA会長が祝辞を述べました。式では別れを惜しみながら、「蛍の光」「仰げば尊し」「旅立ちの日に」が合唱されました。保護者の皆さんは大きくなった我が子の姿に涙ぐんでいました。



夢と希望に胸を膨らませて、12人が三島小を巣立った

将来の夢や目標を持って中学校へ 三島小卒業式、12人が巣立つ

三島小卒業式は3月23日に行われ、男子7人、女子5人、計12人が卒業しました。卒業生は佐藤新治校長から卒業証書を受け取った後、一人ずつ中学校での目標や将来の夢を自分の言葉で発表しました。佐藤校長は「今まで作り上げた、人としての土台を中学校でより強く、よりレベルの高いものにして、将来の夢や目標の実現につなげてください」と式辞を述べました。



矢澤源成所長から満了児5人に満了証書が手渡された

思い出をいっぱい持って小学校へ 三島保育所満了式 5人が4月から新一年生

三島保育所満了式は3月27日に行われ、男子2人、女子3人計5人が満了しました。満了児たちは矢澤源成所長から証書を受け取った後、保護者へ「ありがとう」と感謝の気持ちを伝え証書を手渡しました。矢澤所長は満了した子どもたち一人一人の長所を述べ「お互いの性格を認め合いながら、小学校でも運動や勉強を頑張ってください」とお祝いの言葉を贈りました。

平成 24 年度 地区担当職員名簿				
地 区	担 当 職 員			
宮下・荒屋敷	目 黒 政 寿	真 田 多恵子	諏 訪 義 徳	
中 平	舟 木 孝 治	青 木 武 彦		
桑 原	秦 一 夫	北 舘 亮		
大 登	角 田 陽 市	五十嵐 義 幸		
川 井	森 田 勝	二 瓶 聡 子	角 田 伊 織	
桧 原	鈴 木 庄 蔵	阿 部 ふ く	黒 澤 寿 樹	
滝 谷	星 保 弘	大 竹 重一郎	大 竹 夏 奈	
大 谷	渡 辺 春 吉	横 倉 三代子	五十嵐 義 展	
浅 岐	諏 訪 典 子	二 瓶 仁 志		
間 方	菅 家 直 人	宗 形 和 哉	武 地 葉 子	
西 方	小 堀 庄太郎	本 名 光 子	五十嵐 優	
大 石 田	渡 部 繁 信	大 竹 真理子	栗 城 拓 郎	
名 入	小 柴 謙	二 瓶 大 樹	大 場 まゆみ	
高清水・小山	小 松 昭	小 柴 成 人		
滝 原	板 橋 淳 也	佐久間 絹 江		
早 戸	秦 和 幸	佐久間 淳		

町では、地区担当職員を配置しています。これは、「町づくりの原点は地区づくりから」の理念で、各地区の皆さんと役場職員が一体となり、活力ある地区づくりを進めることを目的としています。地区座談会などを開き、町政に皆さんの意見を反映することができるよう努めていきます。また、地区支援事業補助金などを活用しながら、地区それぞれの取り組みを支援していきます。

なお、日常の相談などについては、担当職員に限らず、身近にいる職員にお話いただいても結構です。

地区担当職員

地区それぞれの取り組みをお手伝いします。

皆さんの一票が、町の未来をつくれます。

投票日
4/15 日
告示日 4月10日

三島町議会議員一般選挙

投票日に投票できない方は、

期日前投票をご利用ください。

任期満了に伴う三島町議会議員一般選挙は4月10日告示、4月15日投票で行われます。議員の定数は8人です。

町民を代表する議会議員を決める重要な選挙です。皆さんの一票が、町の未来をつくれます。棄権しないで投票しましょう。

- 期間 4月11日(水)～4月14日(土)
- 時間 午前8時30分～午後8時
- 場所 町民センター

期日前投票は、こんなときにできます。

- ① 仕事、学業などの場合
- ② 結婚式などの場合
- ③ 旅行や買い物などに出掛ける場合
- ④ 病気、けが、出産などの場合

● 三島町選挙管理委員会（役場総務課内）

☎（48）5511

区長さんが決まりました

平成 24 年度 区長名簿

地 区	区 長 氏 名	世帯数
宮 下	長 谷 川 誠	170
荒 屋 敷	菅 家 政 義	20
桑 原	長 谷 川 一 雄	19
中 平	菅 家 昭	29
大 登	馬 場 正 信	41
川 井	長 谷 川 秋 義	45
桧 原	鈴 木 隆	51
滝 谷	羽 賀 政 雄	51
大 谷	佐 藤 一 郎	51
浅 岐	角 田 清 雄	23
間 方	久 保 田 孝 雄	36
西 方	小 松 順 太 郎	114
大 石 田	飯 塚 徳 男	62
名 入	小 柴 智 雄	38
小 山	鈴 木 孝 一	7
高 清 水	菅 家 敏 一	20
滝 原	板 橋 徳 美	14
早 戸	五十嵐 和 吉	15

固定資産評価審査委員に 板橋健也さん（滝原）



二瓶隆司町長から委嘱状を受け取る板橋健也さん

三島町固定資産評価審査委員に板橋健也さん（滝原）が委嘱され、二瓶隆司町長から委嘱状が手渡されました。固定資産評価審査委員は、固定資産の評価額に関する不服の審査を行います。任期は平成24年3月20日から平成27年3月19日までの3年間です。

町職員の人事

● 3月31日付退職

◆ 菅家藤一（地域政策課 生活工芸館副館長）

◆ 目黒直（総務課）

● 4月1日付異動

※氏名の後のかつて書きは旧役職または旧部署です。

◆ 参事・生涯学習課長 目黒政寿（参事・町民課長）

◆ 参事・産業建設課長 秦和幸（参事・生涯学習課長）

◆ 参事・町民課長 小堀庄太郎（参事・産業建設課長）

◆ 地域政策課 生活工芸館 二瓶大樹（町民課）

◆ 総務課 佐久間淳（産業建設課）

◆ 産業建設課 五十嵐優（総務課）

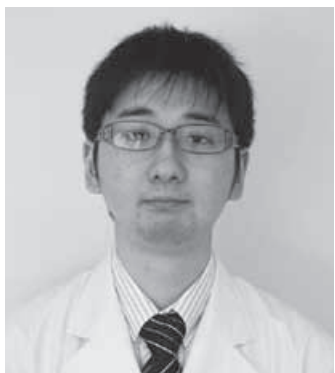
● 4月1日付採用

◆ 町民課 角田伊織（川井）

◆ 産業建設課 小柴成人（高清水）

◆ 総務課 大竹夏奈（滝谷）

宮下病院だより アレルギーってなあに!?



福島県立宮下病院
かしわぎ まさひと
柏木 真人 医師

「アレルギーはありますか?」と聞かれたことはありますか?

アレルギーとは、ウイルスなどから体を守る免疫が、頑張りすぎて自分の体まで傷つけてしまうことです。例えば卵を食べて体がかゆくなった、指輪を付けて肌があれた、蜂に刺されて息が苦しくなったなんて人もそうです。アレルギーの原因には、食物(特に小麦、牛乳、卵)、薬、金属、ダニ、カビなど身の回りにたくさんありますが、一度起こしたものは、再び体に入ると同じ症状を起こすので注意が必要です。この時期に有名なアレルギーは花粉症ですね。春はスギ、夏はイネ、秋はブタクサなど季節により原因は様々です。主な症状はくしゃみ、鼻水、鼻づまりで、薬により症状を軽くできますが、すっかり治るわけではなく、食物などと一緒でなるべく体に入れないようにすることが重要です。例えば、マスクや目を覆う眼鏡、服は玄関の外ではたいてから家に入る、換気は短時間にする、布団は屋外に干さないなどです。「アレルギーはありますか?」自分の体とうまくつき合ってくださいね。

なお、当院でも耳鼻咽喉科や内科にて花粉症の症状改善の目薬、鼻薬、漢方薬などを処方していますので、お気軽にご相談ください。

「ふくしまからはじめよう」

新しいロゴマークが決まりました。



県では、県と県民等が一体となり新生ふくしまの創造に向けた気運醸成のため、「ふくしまからはじめよう。」ロゴマークを作成しました。

民話

第十三話
花咲かじいさま



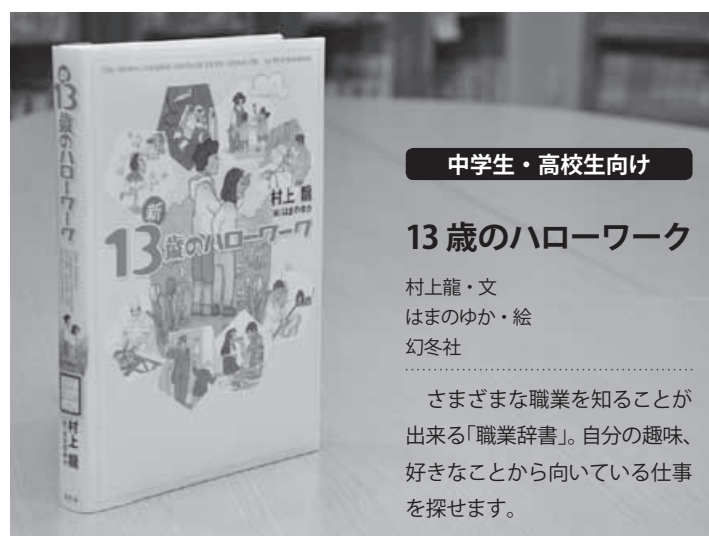
むかし昔、あったけどお。じいさまとばあさま、めぐおい犬がってらったけどお。ある日のこと、その犬がじいさまとばあさまにご引っ張ってなあ。「ここ掘れワンワン。ここ掘れワンワン。」ってほえんだとお。そんじえなあ。掘ってみれば。ヤレヤレ黄金がザクザクでてきたとお。ザクザク出た黄金ガラガラって瓶の中サあけたれば隣のいじわるじいさまが、ガッラリショと来たと思ったら、づない声で怒鳴いやったとお。「何してそんなに銭もかけたとお」「おら家の犬が掘れ掘れって言うがあ掘ってみたのやれ」「そんじやその犬貸せつ」「貸さねえ」「貸せえつうのに」「貸さねえ」貸せ貸せどって、無理やり引っ張ってたあ。ここ掘れども言わねえのに掘ってみれば、瓦の欠けたのやら一つ目小僧だの蛇だのぼつか出てきたとお。怒って

犬ぶつ殺して埋めっちゃまったとお「犬返してくんつえ」ついたら「ああ犬殺した」「何処さ埋めた」「ここさ埋めた」って言うからじいさまは、墓しるしに松ノ木植えたとお。したれば、その松ノ木がズンズンズンズンにわかに育って、何年もたたねえうちに大木になっちゃったとお。それで白を彫って餅ついたれば、また、そこから金がザクザクとでたとお。そしたら、今度あ隣のじいさまが白借り出したあ。餅つきしたれば、泥水なんで、茶碗の欠けたのぼつか出たとお。いじわるじい様白割つてもやしちまったとお。そんじえ泣き泣き白の灰汁もらってきてなあ「ちりりんぼりりん黄金の花あ」ってまいたら、ほんとに見事にさいたとお。こんだあ隣のじい様それ聞いて我も灰汁のこったのかき集めて「ちりりんぼりりん黄金の花あ」ってやつたけど、殿様の目サばっかりかかって、ちいっとも花がさかねえでなやれやつぱり、何でも正直しねえどなあ。ざっとむかしさげえもうした。

掲載協力
故 小松トヲヨさん(西方)

本 町民センター図書コーナー ゆめぽけっと

●利用時間 月～土 9:00～21:00
日・祝 9:00～17:00
●お休み 年末年始
☎ 教育委員会 ☎ (48) 5599



中学生・高校生向け

13歳のハローワーク

村上龍・文
はまのゆか・絵
幻冬社

さまざまな職業を知ることが出来る「職業辞書」。自分の趣味、好きなことから向いている仕事を探せます。

本のリクエスト募集中

読みたい本、おすすめの本などがありましたら、図書コーナー係員にご相談いただくか、所定の用紙に記入してリクエストBOXにご応募ください。教育委員会が検討し、選定された本を購入します。

介護のあるとき

一嫁、妻、女優の狭間で

南田洋子・著
文化創作出版

介護をする心情はどんな環境でも変わらないのではないかと…。老いを看取る自分と、老いていく自分の立場から介護を考えます。

一般向け



一般向け

H.I.V.E. ハイブ

マーク・ウォールデン・作
三辺律子・訳
ほるぷ出版

南海の孤島にある極秘の悪人養成機関 H.I.V.E.では悪のエリートを育てていた。手に汗にぎるSFアクション。



これからの行事予定 town schedule	
4月8日㊥	春の防火パレード 12:30～ 全地区
4月11日㊦	宮下火災安全祈願祭 10:00～ 宮昌寺
4月15日㊧	三島町議会議員選挙
4月20日㊨	三島町老人クラブ連合会総会 10:00～ 町民センター 三島町赤十字奉仕団総会 10:00～ 町民センター
4月29日㊩	消防団春季検閲式 10:00～ 町民運動場

ご寄附
ありがとうございました

三島町社会福祉協議会へのご寄附

ご遺志によるもの

小堀修一様	(西 方)
渡部正利様	(桑 原)
目黒茂様	(滝 原)
細堀信子様	(宮 下)
佐藤一文様	(桧 原)
馬場康友様	(大 登)
田崎敬一様	(滝 谷)

みんなで健康づくり《保健事業の予定》
☎ 町民課 ☎ (48) 5565

4 カ月児健診
4月10日㊦ 11:15～ 坂下厚生総合病院

3 歳児健診
4月18日㊦ 13:00～ 柳津町 銀山荘

足腰げんき教室
◎室内運動編
4月10日㊦ 13:30～ 町民センター
◎水中運動編
4月23日㊧ 13:00～ 町民センター集合
河東学園プール

機能訓練会
4月11日㊦ 14:00～ 福寿草

心の健康相談 (※事前申し込み必要)
4月 9日㊧ 13:30～ 福寿草



広報みしま

皆さんからの情報提供を
お待ちしております

「広報みしま」は、皆さんに親しまれる広報誌を目指して編集しています。町からのお知らせを分かりやすく伝えることはもちろん、町民の皆さんの顔、声を掲載することが最も大切と考えています。皆さんの思い、努力、願いなどが読者の関心を引き、感動を与えます。
「広報みしま」は、町民の皆さんのための広報誌です。いつでも情報をお待ちしています。



☎ 地域政策課
美しい村づくり班
☎ (48) 5533

会津坂下警察署からのお知らせ

三島町では2月中、刑法犯の発生はありませんでした。

利殖勧誘犯罪にご用心！

利殖勧誘犯罪を疑うキーワード
電話などのやりとりで、相手から次のような言葉が出たら利殖勧誘犯罪の被害に遭う恐れがありますのでご注意ください。

◎社債（販売、買取り）
◎未公開株（販売、買取り、上場）
◎東日本大震災復興関連債権
◎アフガニスタン通貨、スーダンポンド
リビアディナール、その他の外国通貨

○上記キーワードを含んだ、知らない人からの電話や郵便による勧誘は、詐欺の疑いがありますので、安易に申し込んだりせず、必ず家族などに相談してください。また、警察署においても気軽に相談ください。

街頭犯罪発生状況（2月末現在）

区 分	管内	三島町
空き巣狙い		
忍び込み		
事務所荒らし		
出店荒らし		
自動車盗		
オートバイ盗		
自転車盗		
自販機狙い		
車上狙い		
部品狙い		
強制わいせつ		
街頭犯罪合計	0	0
全 刑 法 犯	9	0

※全刑法犯には街頭犯罪以外（器物損壊、暴行、傷害、万引き、詐欺など）の犯罪発生件数が含まれます。

交通事故
相談お受けします

福島県
県では交通事故による損害賠償請求や示談の仕方などについて相談をお受けします。相談は無料で秘密は厳守します。

◎相談場所
県庁県民広報室県政相談コーナー
〒960-8670 福島市杉妻町2-16
☎ 024 (521) 4281

◎相談時間
月曜日～金曜日（祝祭日を除く）
・午前9時～正午
・午後1時～午後4時

巡回相談も実施します
交通事故相談員が地域に出向き相談を受け付けます。相談をご希望の方は事前に電話で予約のうえ指定された時間においでください。なお、事前予約が無い場合には相談会は実施しないためご注意ください。

◎予約受け付け先
県庁県民広報室県政相談コーナー
☎ 024 (521) 4281

◎巡回相談会場
会津地方振興局（会津若松合同庁舎）
〒965-8501 会津若松市追手町7-5

◎相談日程
4月17日㊦、5月15日㊦、6月12日㊦
7月10日㊦、8月14日㊦、9月19日㊦

☎ 福島県知事直轄県民広聴室
☎ 024 (521) 7013

三島町の人口と世帯
(3月1日現在)

人口	1,951	-7	出生	0
男	935	-3	死亡	6
女	1,016	-4	転入	0
世帯	832	±0	転出	1

※住民基本台帳による数値です。

無料公証相談会を
実施します

会津若松公証役場
会津若松公証役場では公証制度への正しい理解と認識のために相談会を実施します。相続、遺言、任意後見人契約など無料でご相談をお受けします。なお、プライバシー確保のため事前に御予約のうえご来場ください。

◎無料相談の開催日時
4月16日㊧、4月17日㊦
4月19日㊦、4月20日㊨
午前9時～午後7時（昼休みを除く）

◎場所／問い合わせ先
会津若松公証役場
会津若松市滝沢町5-40 市原ビル1階
☎ 0242 (37) 1955

県政相談のお知らせ
福島県
県では、県政に関する相談や要望、または県民生活に関する相談を窓口と電話でお受けします。相談は無料で秘密は厳守します。

◎相談場所
県庁県民広報室県政相談コーナー
〒960-8670 福島市杉妻町2-16
または
会津地方振興局県政相談コーナー
〒965-8501 会津若松市追手町7-5

◎相談時間
月曜日～金曜日（祝祭日を除く）
・午前9時～正午
・午後1時～午後4時

◎県政相談専用電話
県庁県民広報室県政相談コーナー
☎ 0120 (899) 721 または
☎ 024 (521) 7017
会津地方振興局県政相談コーナー
☎ 0120 (899) 724
☎ 福島県知事直轄県民広聴室
☎ 024 (521) 7013

第11回全国編み組工芸品展

経済産業大臣賞は

山本正子さん（猪苗代町）の
「アケビ整理籠」



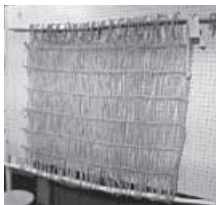
経済産業大臣賞を受賞した山本正子さん。写真左が作品のアケビ整理籠

第11回全国編み組工芸品展
▼経済産業大臣賞Ⅱ山本正子（福島県）アケビ整理籠▼林野庁長官賞Ⅱ五十嵐道夫（福島県）フロアーマット▼東北経済産業局長賞Ⅱ安部たづえ（千葉県）書類バッグ▼福島県知事賞Ⅱ角田恵治（福島県）平笹▼一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会賞Ⅱ菅家アイ子（間方）ヒロロ手提げ籠▼三島町長賞Ⅱ武藤叡太郎（福島県）蕎麦盛り▼奥会津三島編組品振興協議会長賞Ⅱ舟木信次（間方）木笹▼奥会津三島編組品振興協議会長賞Ⅱ五十嵐朝子（大石田）ヒロロ手提げ籠▼福島民報社賞Ⅱ西谷喬（大阪府）鼓形花器▼福島民友新聞社賞Ⅱ土橋澄男（福島県）箕▼NHK福島放送局賞Ⅱ野中勇（福島県）マタタビ深笹▼福島テレビ賞Ⅱ遠藤正子（山形県）▼福島中央テレビ賞Ⅱ今泉弘義（福島県）山ブドウ肩掛籠▼福島放送賞Ⅱ角田弘芳（福島県）かんじき▼テレビユー福島賞Ⅱ五十嵐タメ子（浅岐）ヒロロ手提げ籠▼奨励賞Ⅱ平野良紀（福島県）米研ぎ笹、Ⅱ板垣

第31回三島町生活工芸品展

舟木信次さん（間方）

「モッコ」で大賞に輝く



二瓶隆司町長から賞状を受け取る舟木信次さん

第31回三島町生活工芸品展
▼大賞Ⅱ舟木信次（間方）モッコ▼優秀賞Ⅱ板橋久枝（宮下）山ブドウ手提げ籠、鈴木みゑ子（松原）モワダ長財布、板橋泰二郎（滝原）山ブドウ手提げ籠▼奨励賞Ⅱ酒井ハナヨ（宮下）ブドウ手提げ籠、五十嵐正一（西方）桐トレ、渡部和（大石田）壁掛け▼伝統技術者証Ⅱ舟木トク子（間方）スカリ、舟木信次（間方）木笹、五十嵐富一（大谷）ガマ手提げ籠▼三島町生活工芸運動友の会長賞Ⅱ鈴木セシヨ（松原）マタタビ米研ぎ笹、角田ツヤ子（浅岐）ヒロロ手提げ籠、角田米子（浅岐）山ブドウ手提げ籠、二瓶恵美子（大谷）山ブドウ手提げ籠▼三島町文化協会賞Ⅱ矢澤昇（高清水）椅子▼三島町観光協会賞Ⅱ小柴芳夫（西方）山ブドウ小銭入れ▼三島町商工会賞Ⅱ角田清義（浅岐）マタタビ蕎麦笹▼日本赤十字社福島県支部賞Ⅱ二瓶ケイ子（宮下）山ブドウ手提げ籠▼福島県老人クラブ連合会長賞Ⅱ千葉アキ子（滝原）ヒロロ縄▼三島町老人クラブ連合

会長賞Ⅱ諏訪フヂエ（浅岐）モワダ巾着▼三島町社会福祉協議会長賞Ⅱ渡辺君江（大石田）スカリ▼福島民報社賞Ⅱ板橋サガミ（滝原）ヒロロショルダーバッグ▼福島民友新聞社賞Ⅱ角田進（川井）箒▼有限会社マルシェみしま賞Ⅱ菅家ハルイ（間方）山ブドウ・アコソ手提げ籠▼宮崎清賞Ⅱ五十嵐富一（大谷）ガマ手提げ籠、Ⅱ舟木トク子（間方）ヒロロスカリ、Ⅱ渡辺君江（大石田）ヒロロスカリ、Ⅱ千葉アキ子（滝原）ヒロロ縄、Ⅱ舟木トメ子（間方）雪踏み俵、Ⅱ西郷ハル子（間方）ガマ草履、Ⅱ菅家ハルイ（間方）ガマスリッパ、Ⅱ二瓶アキノ（大谷）ヒロロスカリ、Ⅱ小柴康彦（名人）山ブドウ手提げ籠Ⅱ板橋久枝（宮下）一閑張、Ⅱ五十嵐タメ子（浅岐）ヒロロ手提げ籠、Ⅱ秦愛子（大石田）モワダ巾着、Ⅱ飯塚キシノ（大石田）ヒロロ手提げ籠、Ⅱ二瓶キシイ（名人）ヒロロ手提げ籠、Ⅱ秦栄吾（大石田）山ブドウ書類バッグ、Ⅱ馬場修子（松原）御稽古袋、Ⅱ角田進（川井）米研ぎ笹、Ⅱ角田智義（川井）机

幸夫（宮城県）十二本笹、Ⅱ奥山友雄（宮城県）浅笹（大）、Ⅱ飯塚喜一（福島県）米研ぎ笹、Ⅱ小山田耕治（鹿児島県）網代花籠、Ⅱ田村百合子（山形県）サルナシ皮のバッグ、Ⅱ刈屋洋子（福島県）クルミ手提げ籠、Ⅱ矢澤民子（高清水）ヒロロショルダーバッグ、Ⅱ角田タケノ（浅岐）ヒロロ巾着、Ⅱ五十嵐カツミ（福島県）手編み帽子

業大臣賞に選ばれました。山本さんは「思いもよらなかった賞で身のすくむような気持ちですが、5年前にこの全国展に出品したとき、自分の作品が入賞し、審査員の先生に評価して頂いたことが嬉しくて、もの作りを続けてきました。私のもの作りは三島町に育ててもらったように思います。これからも成長していきたいです」と話しました。

舟木信次さん（間方） 3作品が受賞

第31回三島町生活工芸品展は3月17日・18日、生活工芸館で開催され、出品総数699点の中から、舟木信次さん（間方）の作品「モッコ」が大賞に選ばれました。モッコとは縄をあみのように四角に編み、石や土をいれて四隅をまとめるようにして担いで運ぶ道具です。かつては農業などで欠かせない大切な道具でしたが、現在はモッコを作る人はほとんどいません。舟木さんの「モッコ」は生活に根付いた道具作りの素晴らしさが評価され今回の受賞となりました。舟木さんは大賞の「モッコ」以外にも、「木笹」が伝統技術者証に選ばれた他、全国編み組工芸品展でも舟木信次さんの「木笹」が奥会津三島編組品振興協議会長賞を受賞しました。

また、第11回全国編み組工芸品展も交流センター山びこで同時開催されました。応募作品602点の中から、山本正子さん（猪苗代町）の作品「アケビ整理籠」が経済産

3人の伝統工芸士が新たに誕生

伝統工芸士は、一般財団法人伝統的工芸品産業振興協会が認定するもので、その試験に合格した五十嵐光榮さん（滝谷・マタタビ細工）、目黒政榮さん（滝谷・マタタビ細工）、青木基重さん（西方・山ブドウ細工）に、認定証が授与されました。3人は3月13日、町長室を訪れ伝統工芸士の認定を報告しました。



新たに伝統工芸士となり、町長室を訪れた五十嵐光榮さん（左端）、目黒政榮さん（左から二人目）、青木基重さん（右端）

最優秀賞



「雪の日の路地裏」 山口了二さん（東京都）

宮下地区と宮下・荒屋敷地区地域懇談会が主催した「美しいみやしたを撮ろうフォトコンテスト」の審査会は3月4日、のんびり館で行われ、受賞作品が決まりました。写真家の大島洋さんや児玉房子さん、田中雄一郎さんや宮下写真クラブ「写団道奥21」の方々が審査委員を務めました。審査の結果、東京都の山口了二さんの作品が最優秀賞に選ばれました。「宮下・荒屋敷地区の町づくりに役立てて欲しい」という山口さんの意向により、賞金は宮下地区に寄附されました。

「美しいみやしたを撮ろう フォトコンテスト」 松本みちよさん（宮下）が優秀賞

優秀賞



「おもむきを増す建物」
長谷川錦治さん（いわき市）

優秀賞



「冬夜」
松本みちよさん（三島町）

入選



「駅前の民家の柿」
佐山勝信さん（会津若松市）

入選



「のんびりだね」
千歳原博人さん（喜多方市）

佳作



「伝統の美」
根本晴夫さん（白河市）

佳作



「冬仕度」
関根松美さん（須賀川市）